

## 滋賀県の女性の就業状況について～市町別の比較

- ・県内の女性(15～64歳)の就業率は、郡部のほうが市部に比べて高い。
- ・「労働力状態」で、「主に仕事」の割合が高い市町は、年齢階級別の就業率も高い。
- ・第2次産業の就業者の割合は、郡部が市部に比べて高いところが多い。

平成17年(2005年)国勢調査によると、滋賀県における15～64歳(生産年齢人口)の女性は446,734人(注で、うち約6割にあたる260,921人が就業している。少子高齢化の進展など、社会状況が大きく変わる中、30歳代が落ち込む女性の年齢階級別就業率(M字型カーブ)にも変化が見られる。本レポートでは、県内26市町別に女性の就業率、M字型カーブ等について集計を行い、その特徴と傾向について比較・分析を行った。(注 労働力状態「不詳」は除く。)

### M字型カーブ

就業している(または就業意欲のある)女性の割合は、20歳代と40歳代が高く、30歳代が谷となるアルファベットの”M”に似た曲線を描く。結婚や出産を機に離職し、育児の手が離れると再び就業する女性が多いことを表している。本レポートのM字型カーブは、就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)を使用している。

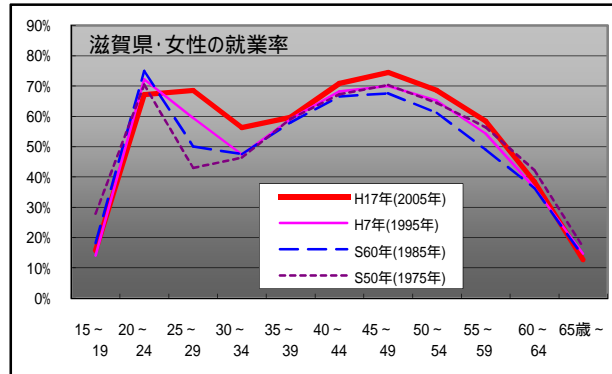
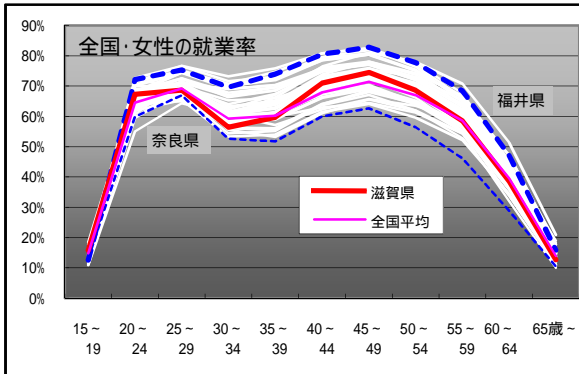
## 1 滋賀県の状況(全国比較および時系列比較)

### 全国比較(平成17年(2005年)国勢調査)

本県の女性(15～64歳)の就業率は58.4%で、全国平均(57.9%)をやや上回って全国31位。M字型カーブの底である30～34歳の就業率は56.4%で、全国平均(59.2%)を下回り全国41位【左下図】

### 過去30年間の時系列比較

- ・最初のピークが、平成17年では20～24歳から25～29歳へ移動。25歳以降で、全体的に就業率は上昇。M字型カーブの底である30～34歳も上昇して、くぼみの部分が浅くなっている。【右下図】
- ・M字型カーブの変化は全国的な傾向で、晩婚化による未婚の就業者の増加が要因

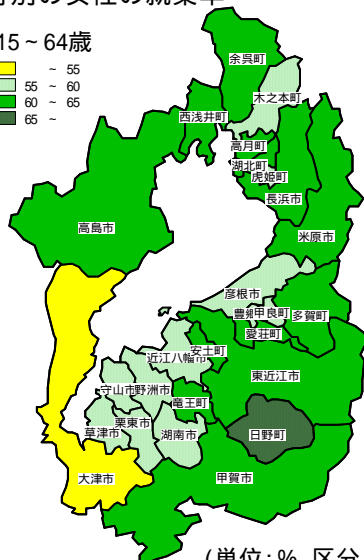


(データ出典は国勢調査。以下同じ。)

## 2 市町の状況

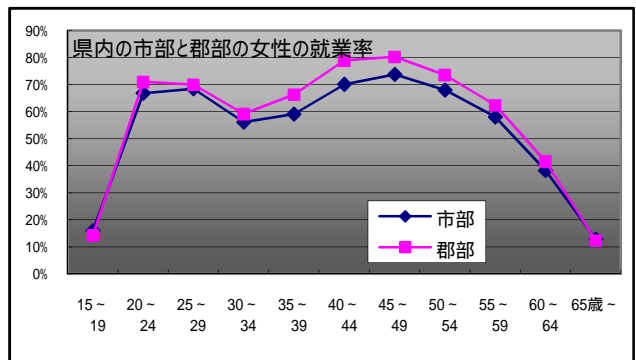
### 市町別の女性の就業率

15～64歳  
 55～60  
 60～65  
 65～



### 26市町別の女性(15～64歳)の就業率

- ・最高は日野町(65.1%)、最低は大津市(53.9%)
- ・南部を中心にした市部で、就業率は低い。【左図】
- ・M字型カーブを比較すると、大部分の年齢階級で郡部が市部を上回っている。【下図】



(単位: %、区分: 以上～未満)

### 3 「労働力状態」による比較

#### 県平均の状況

「主に仕事」...20歳代で8割を超えるが、30歳代前半で約7割、35～59歳にかけて約6割と減少

「家事のほか仕事」...就業率が落ち込む30歳代前半を機に、割合が増加【右図】

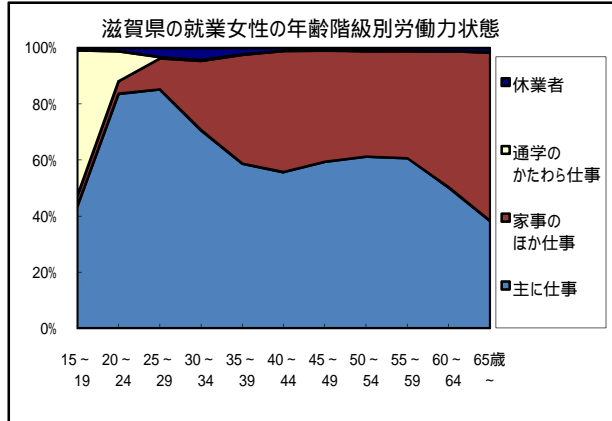
#### 労働力状態

主に仕事...主に勤め先や自営業等の仕事をしていて、家事のほか仕事をした場合

家事のほか仕事...主に家事などをしていて、そのかわら仕事をした場合

通学のかたわら仕事...主に通学をしていて、そのかわら仕事をした場合

休業者...勤め人や自営業者が病気や休暇等で仕事を休み始めて30日未満の場合、または、勤め人が30日以上休んでいても賃金や給料をもらったか、もらうことになっている場合



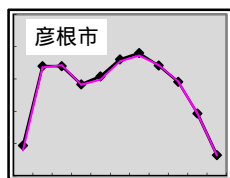
### 4 市町におけるM字型カーブと労働力状態の状況

市町のM字型カーブの類型と労働力状態(15～64歳)をみると、「主に仕事」の割合が高い(「家事のほか仕事」の割合が低い)市町は、M字型カーブも高い傾向が見られる。【右表】

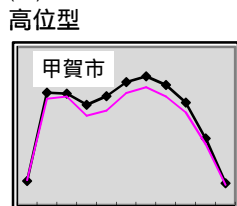
#### M字型カーブの類型

15～64歳の各5歳階級別の就業率を平均して、県平均値より5%以上高い場合は「高位型」、5%以上低い場合は「低位型」、それら以外を「平均型」と区分した。

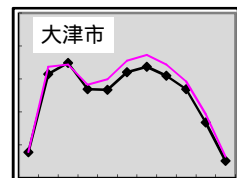
#### 平均型



#### (例) 高位型



#### 低位型



(細線は県平均)

#### M字型カーブと労働力状態の状況(15～64歳)

M字型カーブの類型	労働力状態「主に仕事」の割合		
	65%未満	65%以上	70%以上
高位型		長浜市 甲賀市 高島市 東近江市 米原市 安土町 竜王町 愛荘町 多賀町 高月町 西浅井町	日野町 湖北町 余呉町
平均型	彦根市 近江八幡市 守山市 野洲市 湖南市	豊郷町 甲良町 虎姫町 木之本町	
低位型	大津市 草津市 栗東市		

### 5 産業別による比較

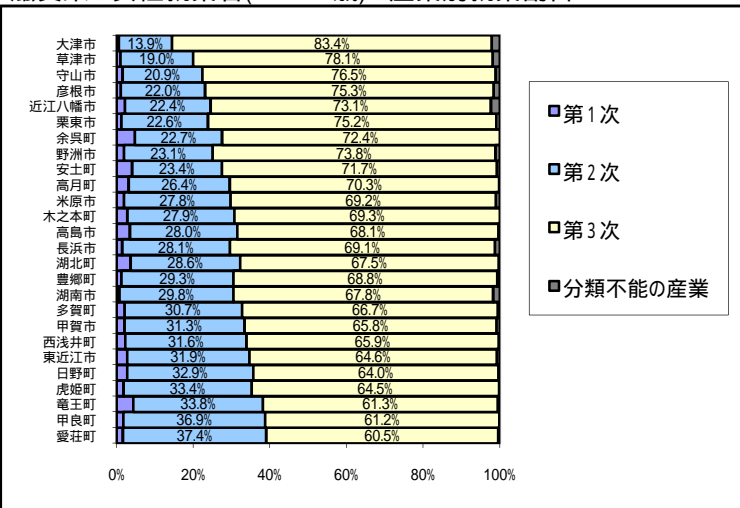
#### 県平均の状況

「卸売、小売業」(20.5%)、「製造業」(20.5%)、「医療、福祉」(16.3%)および「サービス業(他に分類されないもの)」(13.9%)の4産業で全体のほぼ7割を占める。

#### 産業別の特徴

郡部は市部に比べて第2次産業の割合が高いところが多い。【右図】

#### 滋賀県の女性就業者(15～64歳)の産業別就業割合



(第2次産業の割合が低い順に、上から並べてある。)